

福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 10 月 25 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・10/19 21:06 運転中の水処理設備において、セシウム吸着装置第4系列のSMZポンプが自動停止。なお、セシウム吸着装置による水処理は約 17m³/hの流量で運転継続中。
- ・10/24 11:33 水処理設備の淡水化装置(逆浸透膜型)2の構成機器である原水ポンプ(2-1スキッド用)の軸封部より水漏れ(約 20L)を確認したため、同装置を停止。その後、水漏れの停止を確認。14:30、同ポンプを使用している系列を除外して、その他の淡水化装置を起動。16:20、定常流量(約 50m³/h)に到達。

[貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	・1号機タービン建屋	2号機タービン建屋	・10/22 10:35～10/24 9:07 移送実施
2号機	・2号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・10/20 10:12～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・10/20 10:00～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋	仮設タンク	・10/25 移送予定なし
	・仮設タンク	メガフロート	・10/25 10:00～11:30 移送実施

移送先	移送先の水位状況 (10/25 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 3,505 mm(水位上昇累計: 4,722 mm) 10/24 7:00 から 79 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,423 mm(水位上昇累計: 3,149 mm) 10/24 7:00 から 81 mm 下降

トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (10/25 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (10/24 7:00 と同じ)	O.P.+ 4,245 mm (10/24 7:00 から 57 mm 上昇)	O.P.+ 4,359 mm (10/24 7:00 から 47 mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,867 mm (10/24 7:00 から 14 mm 下降)	O.P.+ 2,901 mm (10/24 7:00 から 12 mm 下降)	O.P.+ 2,991 mm (10/24 7:00 から 18 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,197 mm (10/24 7:00 から 9 mm 下降)	O.P.+ 2,955 mm (10/24 7:00 から 11 mm 下降)	O.P.+ 3,123 mm (10/24 7:00 から 11 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 2,996 mm (10/24 7:00 から 9 mm 下降)	O.P.+ 3,023 mm (10/24 7:00 から 8 mm 下降)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5~6号放水口北側約30m	10/24	8:40	ND	0.06	0.06
福島第一 1~4号放水口南側約330m	10/24	8:20	ND	0.03	0.03

・その他、10/24に採取した福島県沿岸2地点の主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (10/25) 電源切替工事に伴うデータ欠測のため、至近のデータを記載。

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度	
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	24.5	8:00時点
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	29.0	9:00時点
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	27.1	10:00時点
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	35	11:00時点

[4号機]・8/20~ 使用済燃料プール塩分除去装置の運転を開始。

<原子炉压力容器への注入・原子炉の状況> (10/25)

電源切替工事に伴うデータ欠測のため、至近のデータを記載。

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機 9:00時点	淡水注入中 (給水系:約3.5 m ³ /h)	69.5	71.5	119.1 kPaabs
2号機 9:00時点	淡水注入中 (給水系:約3.1 m ³ /h,炉心スプレイ系:約7.2 m ³ /h)	73.6	78.5	123 kPaabs
3号機 10:00時点	淡水注入中 (給水系:約2.0 m ³ /h,炉心スプレイ系:約8.1 m ³ /h)	68.2	71.4	101.5 kPaabs

[1号機]・10/25 14:22 原子炉への注水量を約3.8 m³/hに調整。

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

<その他>

- ・4/10~ 作業環境改善として遠隔操作による屋外の瓦礫撤去を継続実施中。
- ・6/28~ 1号機原子炉建屋カバー設置に向けた本体工事实施中。
- 8/10~9/9 1号機原子炉建屋カバー鉄骨組立を実施。
- 9/10~10/14 1号機原子炉建屋カバーのパネルの取付を実施。
- 10/15~ 引き続き1号機原子炉建屋カバー設置に関わる関連工事を実施中。
- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化後の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・10/23 14:00頃 当社社員が野鳥の森にある主変圧器用油を貯蔵する仮設タンク付近において、防油堤の外に油らしきものが溜まっていることを確認。
- 10/24 14:00頃 現場において同タンク防油堤内に溜まった水の中に油膜があること、防油堤内の水があふれ出た跡に油が溜まっていることを確認。これらのことから、23日に確認された油は防油堤内への雨水の流入によって防油堤内の油が堤外に流れ出たものと推定。現在、防油堤内に溜まった水の核種分析、油膜の分析を含め詳細について調査中。
- ・10/25 10:31~11:31 2号機原子炉建屋開口部(ブローアウトパネル)のダストサンプリングを実施。
- ・10/25 11:31~12:31 1号機原子炉建屋内機器ハッチ開口部のダストサンプリングを実施。

以上